



室蘭工業大学

学術資源アーカイブ

Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive



室蘭地区振興発展に寄与する双方向型Webサイト構築の予備研究

メタデータ	言語: jpn 出版者: 室蘭工業大学地域共同研究開発センター 公開日: 2016-12-08 キーワード (Ja): キーワード (En): Interactive Website, Promotion a community, Muroran Area 作成者: 前田, 潤, 唐沢, 聡, 奈良, 航司, 峯岸, 亜紀子, 相田, 誠, 若菜, 博, 門澤, 健也, 板倉, 賢一 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00009101

室蘭地区振興発展に寄与する 双方向型 Web サイト構築の予備研究

前田 潤*1、唐沢 聡*2、奈良航司*3、峯岸亜紀子*4、
相田 誠*5、若菜 博*1、門澤健也*6、板倉賢一*7

A Pilot Study on the Construction of Interactive Website for Contributing to the Promotion of Muroran Area

Jun Maeda, Satoshi Karasawa, Kohji Nara, Akiko Minogishi,
Makoto Aida, Hiroshi Wakana, Kenya Kadosawa, Kenichi Itakura

Abstract

We are trying to construct of interactive Website for the contribution of the promotion in the Muroran Area. In the Website, a store or shop information is mapped on the Google Maps as shop indicator, and this index include a basic information like shop's name, address, telephone number etc. uploaded by users. A user can upload pictures, movies, comments about this shop freely. And other user can add further information or comments. We now reached a realization of basic outline of Website. Next, several issues is needed to solve, meaning that a constrain of information repairment and elimination, utilization by mobile phone, inclusion playfulness like game. After this solution, we would like to have a joint research with Chamber of Commerce and Industry a board trade.

Keywords : Interactive Website, Promotion a community, Muroran Area

1. はじめに

地域を紹介する Web サイトは、様々存在しているが、情報発信は主に生産者や店主が宣伝のためにサイト運営者を通じて行ない、サイトのアップロードは情報発信者に一任されているのが通常である。情報発信はどうしても一方的となるのである。

本研究は、利用者が、情報発信者に Web サイトにアップロードする情報を提供し、Web サイトを情報発信者と利用者が作り上げる簡便かつ利便性の高い双方向

システムを構築するための予備研究である。対象地域を室蘭工業大学のある室蘭地区の水元町、高砂町とし、飲食店の幾つかを事例として選定。システム構築上の問題点や工夫点を洗い出すこととする。

2. 構築される Web サイトの概要

2.1 Web サイトの基本構想

双方向型の新しい Web サイトを構築するために、既存の地域情報、特に室蘭地域に関連する Web サイトの検索を行い、検証を行った。これにより、既存のサイトは、情報発信者側による情報提供を主目的としているが、利用者による電子掲示板や店舗評価も行われていることを確かめた。文章が多いと読み難く、住所や電話番号などの表記があっても位置情報としては、地理に疎いものはわかりにくい。情報発信には必要情報が盛り込まれていることが最低条件だが、面白みに欠ける。サイト情報の管理はあくまで管理者が行っており、サイト利用者のサイトへの参加は、感想に留まるという点で、サイトを利用したポスター案内の域を出

*1 共通講座

*2 情報工学科4年

*3 機械システム工学科4年

*4 商工会議所会員／北海道全調理師会室蘭支部睦会
副幹事長／あい炉代表

*5 前田研究室事務局

*6 国際交流室

*7 情報工学科

ない観がある。

以上から、単なる情報発信としての Web 利用ではなく、Web サイトに室蘭地域をサイト利用者が作り上げていくようなゲーム性を取り入れ、視覚的に楽しめるようにすることを目指すこととした。また、サイト利用者が情報を簡便にアップロードしていくことが可能なシステムとすること、を課題とした。

2. 2 現在の Web サイトのシステム

具体的には、構築するシステムは、地図上に店舗情報をアップロードして表示し、登録を行い、ならびに店舗に関する項目別評価付きBBS（電子掲示板）を実装することとした。つまり、システムの利用者が、地図上のある特定の位置に店舗データを入力したい際に、所定の操作を行うことで、システムに店舗の情報を登録することができるようにしなければならない。

構築されるWebサイトは利用者に、システムに登録されている店舗の情報が付加された地図を提示する。Webサイト利用者は、システムから提示される地図から、登録された店舗を選択し、店舗に関する簡易な情報を得ることができる。利用者が、選択した店舗に関する他者からの情報を得たいのであれば、先の簡易な情報の中に付加されたリンクから、選択した店舗に関するBBSへと移動する。BBSは記事の投稿と、それに対する意見・感想・考察などの投稿から成る。記事の投稿では、店舗に対する投稿者の評価、写真または動画を添付した文書、および投稿者のハンドルネームを見ることができる。利用者が意見・感想・考察などを新たに投稿する場合には、文書とその文書の投稿者のハンドルネームをシステムに入力する。

利用者が全く新たに店舗を登録するには、店舗新規登録を選び、地図上に登録したい店舗の位置にカーソルを移動させ、クリックする。これだけで地図上に新たな店舗がアップロードされる。そして、その店舗をクリックすることで、予め決められた書式に則って必要情報を書き込み、或は写真をアップロードして新規店舗情報を充実させていくことが出来る。登録を完了すると、Webサイトに新たな店舗が加わっていくのである。

システムは現在、パソコン用インターネットブラウザによる、地図と関連した店舗情報の表示・登録部分、ならびに店舗に関する項目別評価付きBBSの評価機能以外の大方の入力部分が完成している。店舗情報とは、店名、店舗の住所、店舗の緯度・経度、店舗のカテゴリである。店舗のカテゴリとは、店舗が飲食店か、あるいは商店なのか、分類分けするための情報である。地図と関連した店舗情報の入力部分では、Google社のGoogle Mapsの機能を利用している。これにより、店舗の緯度・経度を地図上から簡単に取得することが出来、利用

者は店舗の緯度・経度を意識することなく、システムに店舗の緯度・経度情報を入力することができる。

GoogleMapsを活用し店舗情報をシステムに登録し、その登録したデータとGoogleMapsの機能によって、店舗の情報が付加された地図を利用者に提示している。項目別評価付きBBSでは、静止画が添付された記事の投稿と、投稿された記事に対する意見・感想・考察などの投稿が実装されている。

2. 3 現在のシステムの当面の課題

地図と関連した店舗情報、ならびに店舗に関する項目別 BBS の情報は、システム利用者によって修正、削除されることになる。システム利用者は不特定多数であるため、データの修正、削除に関しては何らかの制限を設ける必要がある。

現在のところシステムは、削除、修正の機能が実装しておらず、データをただ入力されるのみの機能しか持っていない。削除、修正に関しては、登録されたデータがなるべく正確な情報となるような制限を加え、その制限ともども実装するように考えている。また、システムを携帯電話のインターネットブラウザからも利用できる機能を実装することで、利用の簡便性を高める予定である。

3. 今後の課題

Web サイト構築を通じて室蘭地域の振興発展に寄与することを目的に着手した研究であるが、「まち」の振興発展のためには、サイト上の情報の信頼性と正確性とともにも安全性も兼ね備える必要がある。この要件はある意味で利用者の堅実さを求めることになるが、一方で、単なる情報発信サイトに留まらない面白みを含んだゲーム性を取り入れるためには、利用者の柔軟性と遊び感覚を許容するものでなければならない。この一見相反する性質を、サイト上にいかに実現するかは、サイトデザインを含めた具体的な今後の課題となる。また、英語サイトを作ることによって、諸外国からの訪問者を増やすことに寄与できるものとなることが期待できる。

室蘭地域は工業都市として栄え、観光業としての資源に乏しいとの印象があるが、市民であっても知る人ぞ知るスポットが多数あり、利用者が作る双方向サイトであるがゆえに、商業店舗に留まらない情報をサイト情報として集積できる可能性がある。

商工会議所との共同研究のためには、少なくとも基本モデルサイトが必要である。そのために現在、さらに Web デザイン、遊び感覚の向上と安全性という課題に取り組んでいるところである。